令和6年度 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち 農山漁村発イノベーション推進事業(農福連携型)及び農山漁村発イノベーション整備事業(農福連携型) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和6年度に実施された「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(農福連携型)及び農山漁村発イノベーション整備事業(農福連携型)について、農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第9の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和6年度に交付金事業を実施した北海道内の9地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。 その結果、優良と認められる地区が6地区、良好と認められる地区が1地区との評価結果となった。 なお、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となった2地区について、重点指導の結果を評価した。 その結果、重点的な指導、助言等を行う地区はなかった。

3. 各地区の評価結果

9件(うち2地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

典政昌笙	等都道府県 市 町 村 事 業 実 施 主 体 名 事業実施段階								評価	評価 コ メ ン ト			
辰以用守	和坦川州	111 111 11.1		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	рт ІЩ	
本省	北海道	江別市	株式会社 北壱伍農産			*	•		•				【令和6年度の事業評価でC評価:令和6年度に指導完了】 アイス小屋の営業が令和6年12月26日から開始され、売上高や交流人口も増加しており、今後も増加することが見込まれる。 (就労者数:目標5人、実績31人 達成率620% a判定) (売上高:目標6,030千円、実績7,000千円 達成率116% a判定) (交流人口:目標5,000人、実績2,700人 達成率54% b判定)
本省	北海道	白老町	株式会社 徳寿ファーム			•* ▼	• •	-+4>	•				【令和6年度の事業評価でC評価:令和6年度に指導完了】 販売用いちごは生育不振だったものの、生いちごを商品化し合わせた売上は目標を達成した。また、これまでの紙媒体やTVCMだけでなく、YOUTUBEとインフルエンサーも活用し、その他交流人口の目標を達成した。 就労者については、目標を達成できるよう今後、B型事業所と交渉していくこととしている。 (雇用・就労者数:目標5人、実績2人 達成率40% c判定)(売上高:目標15,154千円、実績16,933千円 111% a判定)(交流人口:目標960人、実績555人57% b判定)(その他交流人口:目標43,700人、実績47,517人108% a判定)

本省	北海道	札幌市	株式会社トライ		• *	•	•		В	①取組の実施状況がB評価、②事業実績がB評価、③事業実施体制がA評価であり、A評価が半数未満であることから総合的評価をB評価とする。 売上高が減少したため、複数社との商談や新商品開発のための成分分析等、新規取引先獲得のための取組を行っているとのことであり、今後は新規の取引先を確保し、売上高の増加及び他の取組の継続・拡大に努められたい。
本省	北海道	当別町	株式会社 Seed		•	• *	•		A	①取組の実施状況がA評価、②事業実績がA評価、③事業実施体制が A評価であり、全てA評価となっているため総合的評価をA評価とする。 雇用・就労者数、売上高及び交流人口は、計画を上回る実績となっており、今後も、顧客のリピート化、固定化を目指して取組を継続されたい。
本省	北海道	石狩市	株式会社 コムズファーム		•	•	•		A	①取組の実施状況がA評価、②事業実績がA評価、③事業実施体制がA評価であり、全てA評価となっているため総合的評価をA評価とする。 月に1、2日開催している直売会やカフェ営業では、固定客が増えているとのことなので、取組を継続されたい。 生産物の数量が確保できないため、インターネット販売システムを活用できていないとのことから、生産量の増加に努められたい。
本省	北海道	北広島市	合同会社 竹内農園		•	•			A	①取組の実施状況がA評価、②事業実績がA評価、③事業実施体制がA評価であり、全てA評価となっているため総合的評価をA評価とする。トマトの栽培方法の変更により、売上高は減少したものの、取組は順調に進んでいることから、今後も自社内での作業改善を図りつつ取組を継続し、売上高の向上に努められたい。
本省	北海道	網走市	特定非営利 活動法人 夢の樹オホーツク			★▼	•	$\Box \diamondsuit$	A	①取組の実施状況がA評価、②事業実績がB評価、③事業実施体制がA評価であり、A評価が半数以上であり、かつ、C評価がないため総合的評価をA評価とする。 売上高は、一部店舗への試験販売が中心だったことから目標未達となったものの、販売先確保として、試験販売を行った飲食店以外の飲食店への商品の取り扱い依頼などの取組を行い、市内外での販売先の目途が立ってきているとのことであり、今後は売上高の増加に努められたい。

本省	北海道	札幌市	社会福祉法人 札幌緑花会			• *	•	$\Box \diamondsuit$		A	①取組の実施状況がA評価、②事業実績がA評価、③事業実施体制がA評価であり、全てA評価となっているため総合的評価をA評価とする。雇用・就労については、応募はあったたものの、作業の特性(刃物の使用、収穫物の運搬などの体力を要する点)から採用には至らなかったことから目標未達となった。今後は、貴法人における農福連携の取組を紹介し、体験や実習等を受け入れることを通じて、雇用・就労の増加に努められたい。また、果樹の病気(腐乱病)の増加による収穫量の減少が進んでいるとのことであるため、幼木の育成や腐乱病の処理を適切に行い、取組を継続されたい。
本省	北海道	旭川市	社会福祉法人 旭川旭親会				•	0	\Diamond	A	①取組の実施状況がA評価、②事業実績がA評価、③事業実施体制がA評価であり、全てA評価となっているため総合的評価をA評価とする。 計画以上の取組を実施し、障害者の雇用・就労、売上及び交流人口が目標以上に達成されていることから、今後も加工場を活用した取組を継続し、売上及び交流人口の増加に努められたい。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)

重点指導 ▼・・重点指導(通知) △・・重点指導(結果報告予定) ▲・・重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調 評価対象外・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第9の規定に基づき、評価に当たり第 三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」から意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:大江 靖雄 (東京農業大学客員教授)

委 員:市田 知子(明治大学教授)、加藤 由紀子(北海商科大学非常勤講師)、木村 宏(北海道大学客員教授)、森 久美子(作家·柘殖大学北海道短期大学客員教授)

【令和7年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会

- 1 日 時:令和7年7月28日(月) 13:25~16:40
- 2 場 所:農林水産省農村振興局第5会議室
- 3 出席委員:大江委員長、市田委員、加藤委員、木村委員、森委員
- 4 議事概要
 - ① 令和7年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。
 - ② 令和7年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和6年度に事業を実施した7地区の取組概要、評価案及び今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた2地区の重点指導結果に関して説明し、 質疑応答を行った。
- 5 主な意見 なし

第2回評価委員会

- 1 日 時:令和7年8月25日(月) 13:30~15:35
- 2 場 所:オンライン
- 3 出席委員:大江委員長、加藤委員、木村委員、森委員
- 4 議事概要
 - ・第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案 令和6年度に事業を実施した9地区の評価案等に関して、了承を得た。 また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた2地区の重点指導結果に関して、了解を得た。
- 5 主な意見

なし

事業実施主体名:株式会社北壱伍農産

令和7年8月25日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農福連携支援事業)
北海道		 これまで北海道に無かったブルーベリー養液栽培での市場への新規参入やイチゴ栽培の更なる技術習得などを通じ、障がい者の社会参
江別市		加の機会を拡大し、自立のための支援を促進する。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

アイス小屋(加工施設)を令和5年度に自己資金によって整備予定であったものの令和6年度に遅れたことによって、売上の目標が達成できなかった。 令和6年6月に工事契約を行っており同年秋ごろに開業し通年営業の予定であることから、今後は就労者数の更なる増加、売上高や交流人口の目標達成に努められたい。

2. 低調と評価された要因

取組状況及び事業実績がC評価であるため、総合的評価をC評価とした。

3. 目標達成に向けた方策

取組目標を達成するために、アイス小屋の営業に向けて準備を進め、売上や交流人口の増加に努める。

4. 改善状況

○令和6年12月からアイス小屋の営業を開始し、売上高、交流人口ともに増加している。

【主要な取組状況】

- ・アイス小屋(加工施設)の整備:目標1棟、実績1棟(実施率100% a判定)
- ・ブルーベリーの定植:目標1筒所、実績1筒所(実施率100% a判定)
- ・ハウス内作業手順マニュアル:目標1冊、実績1冊(実施率100% a判定)

【事業実績】

- ・障害者等の就労者数:目標5人、実績31人(達成率620% a判定)
- ・売上高:目標6,030,000円、実績7,000,000円(達成率116% a判定)
- ·交流人口:目標5,000人、実績2,700人(達成率54% b判定)

事業実施主体名:株式会社徳寿ファーム

令和7年8月25日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農福連携支援事業)
北海道		いちご栽培技術の習得と作業工程の効率化、適正化により、必要生産量を確保し、摘み取り体験を通して交流人口を増加させ、障害者が
白老町		安心・安全に働ける環境をつくる。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

栽培設備を導入した渡辺パイプから、効果的使用などの現場指導及び経営分析は、実施率が低調な取組であった。 また、いちごの生産は7月以降の猛暑による生育不振で昨年に続き目標値を下回る結果となったが、販売単価の上昇により売上高は上昇している。 障害者の雇用・就労者数については、直前で辞退者があり、目標を達成できなかった。 今後は社会福祉法人等の連携、収穫量安定により目標達成に努められたい。

2. 低調と評価された要因

事業実績がC評価であるため、総合的評価をC評価とした。

3. 目標達成に向けた方策

現場で専門家による技術指導を受けて、いちごの生産を行い、売上や交流人口の増加に努める。

4. 改善状況

○農業普及改良センター、種苗業者、6次化サポートセンターより、指導員を派遣いただき、栽培技術の習得に努めた。

【主要な取組状況】

- ・いちご栽培技術の習得近郊農家への視察:目標5回、実績5回(実施率100% a判定)
- ・いちご栽培技術の習得農業普及改良センターからの営農指導:目標2回、実績1回(実施率50% b判定)
- ・いちご栽培技術の習得種苗業者の技術指導:目標4回、実績4回(実施率100% a判定)
- ・いちご栽培技術の習得6次化サポートセンターからの指導:目標4回、実績4回(実施率100% a判定)
- ·広告宣伝活動:目標3回、実績15回(実施率500% a判定)

【事業実績】

- ・障害者等の雇用・就労者数:目標5人、実績2人(達成率40% c判定)
- ·売上高:15,154,400円、実績16,933,966円(達成率111% a判定)
- ·交流人口:目標960人、実績555人(達成率57% b判定)
- その他交流人口:目標43,700人、実績47,517人(達成率108% a判定)